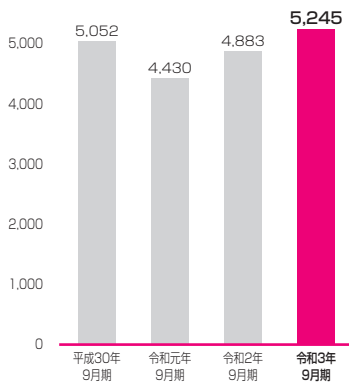


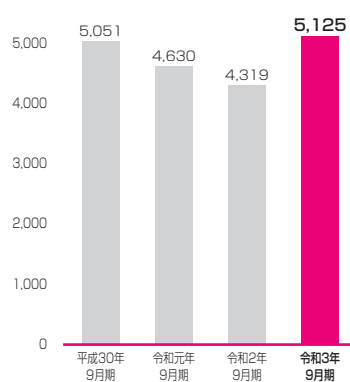
業績の概況（単体）

- 銀行の本業の収益を示すコア業務純益は、役務取引等利益が増加したこと等により、前年同期比362百万円増加して5,245百万円となりました。
- 経常利益は、与信関連費用が減少したこと等により、前年同期比806百万円増加して5,125百万円となりました。
- 中間純利益は、前年同期比953百万円増加して3,872百万円となりました。

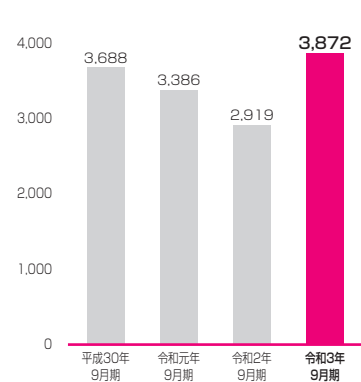
■ コア業務純益 (単位：百万円)



■ 経常利益 (単位：百万円)



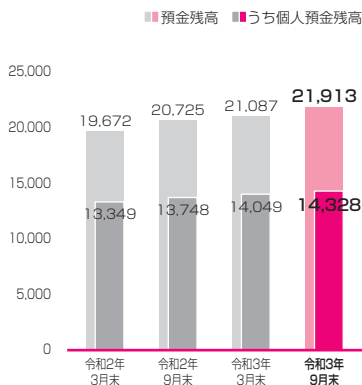
■ 中間純利益 (単位：百万円)



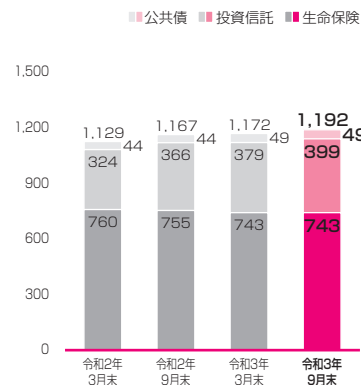
平成30年9月期及び令和元年9月期は、旧徳島銀行及び旧大正銀行の計数を単純合算しています。

- 預金残高／個人預金、法人預金ともに順調に増加したことにより、預金残高は前期末比826億円増加して2兆1,913億円となりました。
- 預り資産残高／投資信託の残高が増加したことにより、預り資産残高合計は前期末比20億円増加して1,192億円となりました。
- 貸出金残高／新型コロナウイルス感染症対応融資をはじめ、中小企業及び個人向け貸出等に積極的に取り組んだ結果、貸出金残高は前期末比386億円増加して1兆7,810億円となりました。

■ 預金残高 (単位：億円)



■ 預り資産残高 (単位：億円)



■ 貸出金残高 (単位：億円)

